

仕様

販売名	内臓脂肪計
品番	EW-FA90
医療機器承認番号	22500BZX00522000
類別	機械器具（21）内臓機能検査用器具
一般的名称	体成分分析装置
医療機器の分類	管理医療機器
使用対象者	医療従事資格者
電氣的定格	AC100V 50-60Hz 消費電力：1.0W
電源保護形式	クラスⅡ
装着部の分類	BF形装着部
主な構成	内臓脂肪計本体：1台 ベルトS、ベルトM、ベルトL：各1本 パッド：30枚 収納ケース：1個
使用環境	温度：10～40℃、湿度：30～80%
保存環境	温度：-20～50℃、湿度：10～95%（結露なきこと） （パッドのみ 温度：-20～35℃、湿度：40～80%）
外形寸法	本体：約260mm（幅）×約65mm（高さ）×約152mm（奥行） ベルトS：約542mm（幅）×約45mm（高さ）×約60mm（奥行） ベルトM：約692mm（幅）×約45mm（高さ）×約60mm（奥行） ベルトL：約992mm（幅）×約45mm（高さ）×約60mm（奥行） 収納ケース：約●●mm（幅）×約●●mm（高さ）×約●●mm（奥行）
質量	本体：約0.7kg ベルトS：約0.29kg ベルトM：約0.31kg ベルトL：約0.35kg 収納ケース（本体、付属品等を全て収納した総質量）：約●●kg

別売品

品名：パッド
品番：EW-9N90
枚数：150枚

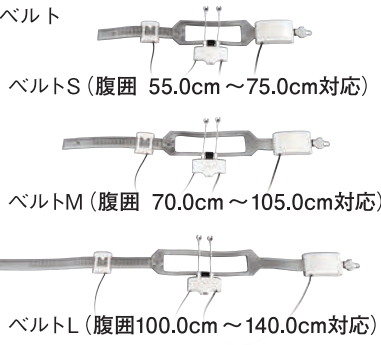


本体と主な付属品

●本体



●ベルト



●収納ケース



適用対象：（下記の被検者には使用しないこと）

- ① ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器使用者
 - ② ホルター心電計などの装着型医用電気機器を使用時
 - ③ 人工心肺などの生命維持用医用電気機器使用者
 - ④ 体内植込み型金属製医療機器使用者
 - ⑤ 現在妊娠中、あるいはその可能性がある
 - ⑥ 人工透析患者（体水分量が通常から大きく外れている人）
- * 詳細は、取扱説明書をご参照ください。

販売に関するお問い合わせは

Wellup

株式会社 ウエルアップ

TEL：045-317-7908 FAX：045-317-7909

URL：http://wellup.jp

パナソニック株式会社 アプライアンス社
ビューティ・リビング事業部 営業企画部

〒525-8555
滋賀県草津市野路東2丁目3番1-2号

© Panasonic Corporation 2015
＜製造＞パナソニック アプライアンス社
本書からの無断の複製はかたくお断りします。

このカタログの記載内容は
2016年9月現在のものです。

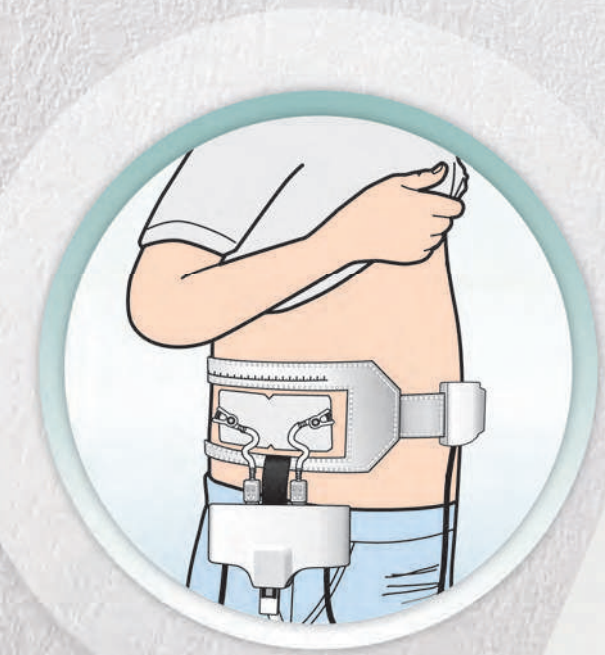
Panasonic

2016/7

内臓脂肪計 EW-FA90

医療機器承認番号 22500BZX00522000

腹部にベルトを巻き
手軽に内臓脂肪面積を測定



メタボリックシンドロームの診断基準の1つである腹囲の測定を行うこと、および腹囲が診断基準を超えた被検者を対象に、内臓脂肪面積の推定値に基づいた二次スクリーニングを実施することを目的としています。

●製品の色は印刷物ですので実際の色と若干異なる場合があります。●製品の定格およびデザインは予告なく変更する場合があります。
●実際の製品には、ご使用上の注意を表示しているものがあります。

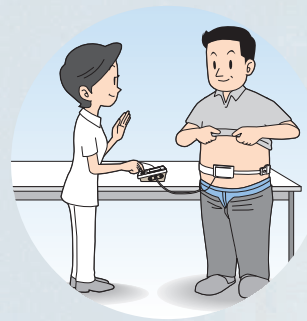
立位で素早く内臓脂肪面積を測定、脱衣から着衣まで1人 2～5分*

EW-FA90
内臓脂肪計

*参考間です、被検者の年齢や性別、服装で時間は変わります。

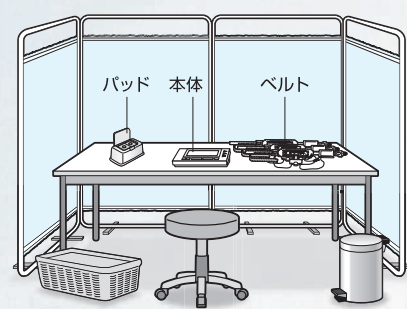
手軽に測定

測定時の脱衣が不要



専用ベルトを装着腹囲 / 内臓脂肪ボタンを押し、測定します

立位での測定で省スペース



1.4m × 1.4mの面積を確保すれば測定できます

持ち運び可能

小型サイズなので、収納ケースに入れて持ち運びができます



総重量●●kgと軽いので、運び易く機器の保管も簡単です

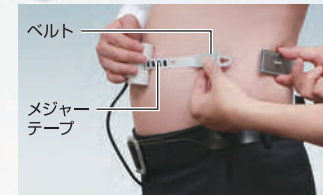
かんたん操作

1 測定前の準備



本体とベルトをつなぎ電源を入れます。

2 ベルトを巻く



腹部を出し、ベルトを装着して、電極ユニットを合わせます。

3 パッドを貼る



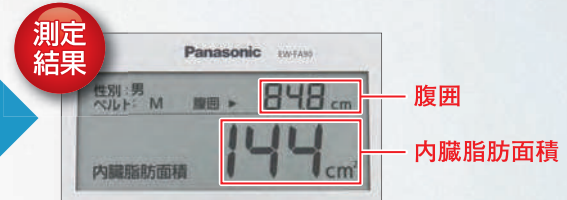
ベルトの目盛を読み、パッドを貼り、導子コードを接続します。

4 測定する



自然呼吸の状態で「腹囲測定」続いて、「内臓脂肪測定」を行います。

内臓脂肪測定時間 6秒

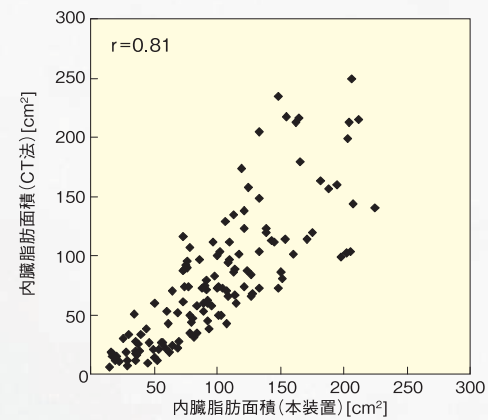


※測定手順の詳細は、取扱説明書をご参照ください。

X線CTとの相関係数：0.81

本装置による内臓脂肪面積の推定値とX線CT画像解析による内臓脂肪面積とは相関係数0.81と高い相関性があることが確認されました。

【図】 本装置とCT法との相関：内臓脂肪面積
実施時期：2010～2011年
対象者：内臓脂肪蓄積に関連する疾病を有する患者、他の疾患を有する患者および健康人



生活習慣の現状と変化を内臓脂肪面積で「見える化」

内臓脂肪は、運動や食事などの生活習慣で変動します。しかし、外からは見えません。そこで内臓脂肪の蓄積量を内臓脂肪面積として数値化することで現状を確認できます。



さまざまな現場で活用

定期健診



腹囲測定と同時に内臓脂肪面積を測定し、健診結果に反映できます。

ポピュレーションアプローチ



健康イベント等で腹囲測定と内臓脂肪面積測定を同時に実施できます。

ハイスコアアプローチ



特定保健指導等で内臓脂肪面積の2次スクリーニングを実施し、蓄積量を把握できます。

人間ドック



健診の標準コース、オプションコースで容易に内臓脂肪面積測定が導入可能になります。

クリニック



運動療法、食事療法の根拠に内臓脂肪面積が活用できます。